

令和 2 年 度

いばらき県央地域観光協議会
総 会

いばらき県央地域観光協議会

1 令和2年度総会議案

認定第1号 令和元年度事業報告について

認定第2号 令和元年度決算報告について

議案第1号 令和2年度事業計画について

議案第2号 令和2年度収支予算について

議案第3号 役員の改選について

認定第1号 令和元年度事業報告について

1 会議の開催

(1) 総会

期 日	令和元年6月4日(火)
場 所	水戸市役所 4階 政策会議室
議 事	認定第1号 平成30年度事業報告について 認定第2号 平成30年度決算報告について 議案第1号 令和元年度事業計画について 議案第2号 令和元年度収支予算について

(2) 県央9市町村による会議

① 「2019年度事業」検討部会の開催

期 日	令和元年8月30日(金), 11月8日(金), 12月23日(月) 令和2年1月21日(火)
議 事	サイクルツーリズムの推進について 物産イベントの実施について 県央定食の開発及び現地ツアーの企画・催行について 観光キャンペーンの実施について

② 「令和2年度事業」検討部会の開催

期 日	令和2年3月5日(木)
議 事	いばらき県央地域観光協議会「令和2年度事業(案)」について その他

2 事業の実施

(1) 県央地域内の観光マーケティング調査

観光マーケティング調査(詳細版)結果報告会の開催

期 日	令和元年7月24日(水)
内 容	各調査結果のポイントについて 海外向けGAP調査の結果について その他

【KPI進捗状況】

指標	現状値(2019年度)	目標値(2021年度)
観光マーケティング調査の実施回数	5回	3回

(2) 県央地域魅力発信事業

① 観光戦略の設定と情報発信

観光プロモーションを展開するにあたり、統一性・一貫性を持たせるため、テーマ・コンセプトを設定し、新聞記事への掲載をはじめ、ホームページでの活用を図るなど、周知を行った。

設定にあたっては、平成 29 年度に実施したマーケティング調査における G A P 調査により、20～49 歳女性の県央地域への来訪経験が最も低いものの、来訪意向は 20～34 歳女性が最も多く、次いで 35～49 歳女性が高いことが分かったため、20～30 歳代女性をターゲットに設定した。

② 「いばらき県央地域観光協議会」ホームページの刷新

ページビュー数が減少傾向で、直帰率の高さやリピーターの少なさが課題となっている広域観光ホームページを、ページデザインの刷新や CMS の導入によって、視覚的な訴求力や更新率を高めたページとする作業を行った。

③ 観光キャンペーンの実施

いばらき県央地域「春」の観光キャンペーン

期 日 平成 31 年 4 月 28 日（日）

会 場 国営ひたち海浜公園

内 容

- ・観光パンフレット及びチラシの配布
- ・いばらき県央よいとこプランチラシの配布
- ・広域観光周遊バスの運行に向けた周遊ニーズ等聞き取り調査
- ・県央地域 G W イベント特典の配布
- ・いばらき県央特選お土産品の配布

④ 物産イベントの開催に向けた協議

平成 29, 30 年度に開催した物産イベントでのアンケート調査により、ターゲットとしている女性層の集客が見込めることから、より多くの女性層に来場していただけるイベント内容の協議、検討を行った。

協議、検討を踏まえ、県央地域を代表する食資源とイメージカラーを組み合わせ、チーズ、ヨーグルトやしらす等の「白」、栗、いなり寿司、ほしいもや納豆等の「茶」の 2 色をキーカラーに、「白」と「茶」のそれぞれの資源が持つ「なぜ県央地域に根付いているのか」「なぜ県央地域で始まったのか」という物語を圏域内外に発信する「茨城まんなかしろとちゃマルシェ」を企画した（新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため延期、開催時期未定）。

⑤ 物産イベント（販路拡大、ブランド力向上等支援）の実施

茨城県央地域ならではの土産品等の販路拡大やブランド力向上を目的に、物産イベントを実施した。

ア 販売促進・販路拡大を目指す事業者向けセミナー「輝け！地方の本当に良いモノたち～価格競争から価値競争へ～」

地域特産品のブランディングや商談会等での自社商品のPR方法について、講演を行った。

期 日 令和2年2月12日（水）

参加者 県央地域内事業者12社16名

イ 相談会・ビジネスマッチング（商談会）

講演会終了後、希望者に対し、販路拡大やブランド育成、パッケージ、デザインに関する専門家との相談会を実施した。

また、同会場において、県央地域内のバイヤー（ネクセリア東日本（株）水戸支店、（株）京成百貨店、（株）セイブ）と予約制の相談会を実施した。

⑥ 広告出稿

磯節全国大会のプログラム（予選会（ひたちなか市）、決戦会（水戸市）等で2,000部配布）に広告を掲載した。

また、ホームページへの誘導を図り、県央地域の魅力を効果的に発信することを目的に、じゃらん本誌とじゃらんニュース（WEB）への記事掲載に加えて、アフィリエイト広告を実施した。

【KPI進捗状況】

指標	現状値（2019年度）	目標値（2021年度）
土産品イベントの出品数	38品	のべ100品
ホームページのページビュー数	37,055ページビュー	100,000ページビュー
外国人観光客向けキャンペーンの実施	2回	4回

（3）周遊型観光の推進事業

① 周遊ツアーの催行

平成30年度までに協議、造成したコースをもとに、ツアーの販売・催行を行い、県央地域への集客を図るため、旅行会社への周知とともに、情報収集及び検討を行った。

また、市町村職員によるワークショップ等で洗い出した県央地域内の観光資源を直結させたツアーを造成し、県観光物産協会内「いばらきツアーオフィス」主催の「いばらきよいとこプラン」において参加者を募り、催行した。

・催行ツアー数：9ツアー ・集客数：189名

ア 学びと遊びのフルコース！座禅で精神統一&創業114年の老舗醤油蔵見学

前半は講道館のガイド付き散策と座禅体験、そして後半は海鮮ランチや絶景の宝庫ひたち海浜公園や老舗醤油蔵を回る一張一弛を意識したツアーを実施した。

期 日 平成31年4月19日（金）

参加者 7名

行 程 水戸駅→弘道館→一乗院→那珂湊おさかな市場→国営ひたち海浜公園→黒澤醤油店→勝田駅→水戸駅

イ 世界に誇る絶景ネモフィラと最先端研究施設と老舗酒蔵で大人の社会科見学

老舗酒蔵や普段は入れない研究施設での社会科見学に加え、春の絶景 ネモフィラと那珂湊の海の幸を楽しんでいただくツアーを実施した。

期 日 平成 31 年 4 月 28 日 (日)
参 加 者 37 名
行 程 勝田駅→国営ひたち海浜公園→那珂湊おさかな市場→J-PARC→
木内酒造→水戸駅→勝田駅

ウ 世界で 1 つだけのマイ笠間焼づくりと納豆工場見学

見頃を迎えた藤の甘い香りに包まれた笠間稲荷神社の散策や笠間焼づくり体験、おかめ納豆を製造するタカノフーズの工場見学を楽しむツアーを実施した。

期 日 令和元年 5 月 6 日 (月)
参 加 者 15 名
行 程 水戸駅→笠間稲荷神社→桧佐陶工房→ポケットファームどきどき→
タカノフーズ納豆工場→空のえきそ・ら・ら→石岡駅→友部駅

エ 春を楽しむためのこ掘りと茨城三大銘茶の茶畑見学

笠間のたけのこと小美玉の蓮根を使用した限定ピザづくりや徳川光圀公が感嘆したと言われる古内茶の壮大な茶畑見学を体験していただくツアーを実施した。

期 日 令和元年 5 月 12 日 (日)
参 加 者 13 名
行 程 友部駅→笠間クラインガルテン→ふれあいの里→高安園(茶畑見学)→
水戸ドライブイン→水戸駅→友部駅

オ 納豆、チーズ、ヨーグルト！地の発酵食品で腸活ツアー

朝ヨガで日々の疲れを癒し、チーズ→納豆→ヨーグルトと県央地域自慢の発酵食品巡りで身体も心も健康へと誘うリフレッシュツアーを実施した。

期 日 令和元年 6 月 16 日 (日)
参 加 者 17 名
行 程 水戸駅→ふれあいの里→水戸市森林公園→割烹魚政→外之内牧場→
空のえきそ・ら・ら→石岡駅→水戸駅

カ 旬のブルーベリー狩り&ご当地ピザ作り体験

旬の完熟ブルーベリー狩りや稲田みかげ石の採石場「石切山脈」のガイド付き散策を楽しんでいただくツアーを実施した。

期 日 令和元年 6 月 23 日 (日)
参 加 者 30 名
行 程 水戸駅→磯野ブルーベリー園→ふれあいの里→ギャラリーロード→
石切山脈→水戸ドライブイン→水戸駅

キ 大人気「屋形船編」第 2 弾！完熟マンゴー栽培見学と 1 万株のあじさい鑑賞

県内初のマンゴー園や屋形船での酒沼の景色鑑賞を楽しんでいただくツアーを実施した。

期 日 令和元年 7 月 6 日 (土)
参 加 者 30 名

行 程 水戸駅→保田園（マンゴー栽培見学）→涸沼広浦屋（屋形船）→
涸沼自然公園→大洗磯前神社→海・山直売センターいきいき→水戸駅
→羽鳥駅

ク 秋のおいしいすぎる食と絶景「石切山脈」巡り

秋の味覚栗・ぶどう狩り体験に加え、絶景として注目される石切山脈のガイド付き散策を満喫していただくツアーを実施した。

期 日 令和元年9月21日（土）

参加者 25名（応募者38名）

行 程 友部駅→石切山脈→笠間クラインガルテン→割烹川広→
清水ぶどう園→水戸駅→友部駅

ケ 紅葉の絶景「コキア」とうまいもん巡り

秋の絶景コキア見学に加え、特産品のほしいもの買い物やきのこ博士館見学といった県央地域ならではの体験をしていただくツアー。

期 日 令和元年10月12日（土） ※台風の影響で中止（応募者44名）

行 程 勝田駅→国営ひたち海浜公園→那珂湊おさかな市場→黒澤醤油店→
ほしいも株式会社→茨城県植物園（きのこ博士館）→木内酒造本店→
水戸駅

コ 秋の風情とおいしい旬巡り

菊まつりで賑わう日本三大稲荷の笠間稲荷参拝と水戸市のイチョウ・紅葉観賞、そしてピザづくりやりんご狩りを楽しんでいただくツアーを実施した。

期 日 令和元年11月16日（土）

参加者 15名

行 程 友部駅→笠間稲荷神社→ふれあいの里→森田観光果樹園→
茨城県立歴史館→もみじ谷→水戸駅

サ 食を知り食を楽しむ食欲の秋巡り

おかめ納豆と明太子の製造ライン見学に加え、涸沼の幸を使った絶品ランチを楽しんでいただくツアー。

期 日 令和元年11月23日（土・祝） ※台風の影響で中止（応募者42名）

行 程 石岡駅→タカノフーズ納豆博物館→涸沼広浦屋（屋形船）→
大洗カジキミュージアム&めんたいパーク→大洗まいわい市場→
水戸駅

② 県央定食の開発及び現地ツアーの企画・催行

20代後半から40代前半の女性を中心として、月間約15,000人が訪れる渋谷ヒカリエ d47 食堂において、食資源調査結果を踏まえた、県央地域の魅力ある食材を活用した定食の開発及び販売を行った。

あわせて、定食で使用している食材の生産地を巡るモニターツアーの企画・催行を実施し、認知度向上を図るとともに、SNS等を通じて実施状況の情報発信を行った。

ア 茨城県央定食

提供期間 令和元年11月13日（水）～12月10日（火）

提供価格 税込1,750円

イ 茨城県央を味わう食の旅

実施期日 令和2年1月25日（土）

参加者 16名

行程 大喜や→那珂湊おさかな市場→地魚寿し鮨の浜よし→だるま食品
→須崎農園→芋助→木内酒造

③ 県央地域内の観光資源魅力向上事業の推進

県央地域の食材と納豆を活用したメニューの開発

7月10日の「納豆の日」において、茨城県納豆商工業協同組合を中心に、納豆に関する様々な企画が行われるなか、水戸市役所本庁舎内のレストランとの連携により、県央地域9市町村の食材を活用したメニューを新たに開発し、納豆の日から5日間、販売を行った。

④ 体験プログラムの強化

「モノ消費」から「コト消費」へと消費スタイルが変化しているなか、県央地域ならではの体験プログラムとして集約し、協議会ホームページ内に紹介ページを設け、情報発信を行った。

⑤ サイクルツーリズムの推進

全国的にサイクルツーリズムを通じた取組が活発化しており、県央地域においても、いばらき自転車活用推進計画を参考としつつ、自然や歴史、飲食等、観光資源を楽しみながら周遊ができるモデルコースの設定に向けた検討を行った。

ア 水戸市・那珂市・城里町周遊コース

イ 笠間市・小美玉市・茨城町周遊コース

ウ ひたちなか市・大洗町・東海村周遊コース

また、上記のコース決定を目的とし、サイクリングの専門家とともに試走するライドイベント「ファンライド de あす旅」を企画した（新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため延期、開催時期未定）。

【KPI進捗状況】

指標	現状値（2019年度）	目標値（2021年度）
周遊イベントの県外参加者率	—	45%
周遊ツアーの造成	21本	8本
周遊ツアーの集客数	1,909人	3,000人

認定第2号 令和元年度決算報告について

【収 入】

(単位：円)

科 目	予算額	収入済額	比較	説 明	
負担金	24,380,000	19,266,000	△5,114,000	市町村負担金	
				水戸市	6,508,000
				笠間市	2,038,500
				ひたちなか市	2,119,500
				那珂市	1,075,500
				小美玉市	1,567,500
				茨城町	1,231,500
				大洗町	2,269,500
				城里町	1,161,500
				東海村	1,114,500
				観光協会負担金	
				@20,000×9 団体	180,000
繰越金	10,228,814	10,228,814	0	前年度繰越金	
雑入	186	169	△17	預金利息	
合計	34,609,000	29,494,983	△5,114,017		

【支 出】

(単位：円)

科 目	予算額	支出済額	比較	説 明
報償費	600,000	0	△600,000	
消耗品費	1,200,000	160,069	△1,039,931	よいとこプランお土産代等
食糧費	100,000	0	△100,000	
印刷製本費	700,000	0	△700,000	
通信運搬費	100,000	26,508	△73,492	
広告料	8,000,000	2,665,000	△5,335,000	磯節全国大会広告料 じゃらん及びアフィリエイト広告出稿料
手数料	100,000	1,549,930	1,449,930	振込手数料, CMS 構築手数料等
委託料	23,300,000	6,929,450	△16,370,550	各業務委託料
使用料及び 賃借料	500,000	15,200	△484,800	レンタサイクル使用料等
予備費	9,000	0	△9,000	
合計	34,609,000	11,346,157	△23,262,843	

収入済額 29,494,983 円

支出済額 11,346,157 円

差引残額 18,148,826 円(次年度に繰越)

監 查 報 告 書

令和元年度いばらき県央地域観光協議会収支決算について、関係諸帳簿及び証拠書類に基づき監査したところ、いずれも適正であり、決算書のとおり相違ないことを認める。

令和2年5月19日

いばらき県央地域観光協議会

監事 笠間市観光課長 滝田 憲二

監事 城里町まちづくり戦略課長 小林 克成

議案第1号 令和2年度事業計画について

茨城県央地域定住自立圏共生ビジョンに基づき、引き続き、以下の3つの事業を柱に、広域観光を推進する。「いばらき県央地域観光協議会」として設定したターゲット、コンセプト及びこれまでの成果をもとに、社会経済活動の制限や自粛要請等の動向を踏まえた上で、より効果的な事業展開を目指す。

1 県央地域内の観光マーケティング調査

平成29、30年度に実施したマーケティング調査の結果に基づいた戦略的な観光振興を引き続き推進する。

2 県央地域魅力発信事業

(1) マルシェイベント(土産品等物産展)の実施

平成29、30年度の手土産品評会における受賞9品を中心として、県央地域における土産品等特産品の商品力強化や販売促進につながるイベントを実施する。

- ①新型コロナウイルスの影響で延期した「茨城まんなか しろとちやマルシェ」について、日程を再調整して実施

(2) ホームページの運用と活用

令和元年度にリニューアルしたホームページについて、新たに導入したCMSを積極的に活用し、掲載内容を随時更新しながら、旅行会社や観光客等に最新情報を提供することで、ページビュー数やリピーターの増加を図る。

- ①20～30代女性をターゲットとしたPR動画の作成
- ②20～30代女性受けしそうな食事・デザートの研究・開発、ノベルティグッズの製作

(3) 観光キャンペーンの実施

マーケティング調査において明らかになった「観光地としてのイメージが浮かばない」との課題を受けて、引き続き、観光地としてのイメージの定着、向上を図るための観光キャンペーンを実施する。観光キャンペーンを効果的に行うために、県央地域を訪れる人々の観光需要を読み解くアンケートをはじめ、県央地域内の周遊性向上や観光地としてのイメージ発信等、実施場所に応じて、戦略的なキャンペーンを展開し、誘客促進につなげる。

- ①d design travel 茨城号発刊によるプロモーション
- ②常磐道守谷SA下り線における認知度向上、交流人口増、アンケートを目的としたキャンペーン

(4) 広告出稿

20～30代女性を中心に誘客を一層図るため、若い女性層をターゲットする広報媒体を選定し、活用することで、効果的に県央地域の魅力を発信する。また、広告の出稿にあたっては、Web広告やSNS広告において、ホームページへの誘導及びSNS上での共有を狙ったキャンペーンを展開し、県央地域の認知や興味・関心の獲得を図る。

- ①各市町村担当者が自分の市町村以外の観光資源を取材・記事化し、ホームページと月刊ぷらざにて連載
- ②Facebook等SNSのクリック課金広告等を活用したホームページへの誘導

(5) 広域観光ガイドブックの充実

平成28年度に作成した広域観光ガイドブックについて、当協議会のコンセプトである「あす旅」を踏まえた内容に刷新する。

- ①食やイベント、体験プログラム等、県央地域の楽しみ方を時期ごとに紹介する内容に刷新し、前回作成時と同サイズ(A5版)で、1万部作成

3 周遊型観光の推進事業

(1) 周遊ツアーの催行

これまで造成してきたオリジナルツアー(いばらき県央あす旅ツアー)14本を基本行程として、旅行会社等によるツアーの催行委託を実施し、商品化を目指す。

- ①茨城県への送客実績がある旅行会社等への委託による県央地域を周遊するツアーの企画・催行

(2) 「いばらきよいとこプラン」を活用した周遊コンテンツの発掘・磨きあげ

県主催事業「いばらきよいとこプラン」への参画を通して、個人旅行者も想定した周遊型観光の推進に資するコンテンツの発掘・更なる磨き上げを行う。

- ①秋は、催行中止となった「御朱印」と「ダム」をテーマとする3コースの再募集・催行
- ②春・初夏は、事前に周遊テーマを協議し、中心自治体を選定した上で企画・催行

(3) 県央地域内の観光資源魅力向上事業の推進

令和元年度に引き続き、県央地域内で実施されるイベント等において、その魅力向上や県央地域内の周遊が期待できるものについて、協議会事業として支援し、コンテンツの磨き上げを図る。また、事業の実施にあたっては、協議会構成市町村及び観光協会から広く案を募るものとする。

(4) 体験プログラムの充実

体験プログラムの提供を行っている事業者への取材を実施し、その内容をホームページやSNS等で紹介することで、観光客や旅行会社への周知を図るとともに、広域連携による体験・周遊型観光の実現を目指す。あわせて、当協議会各種事業とも連動させた体験プログラムの活用を図る。

- ①ホームページにおいて、CMSを活用し、時期ごとに旬の体験を紹介
- ②当協議会コンセプトである「あす旅」を踏まえたガイドブックへの組み込み

(5) サイクルツーリズムの推進

県央地域内を周遊するモデルコースを設定し、サイクルツーリズムを通じた周遊施策を推進しながら、地域資源の組合せによる新たな観光需要の掘りおこし、県央地域ならではの魅力をPRする。

- ①令和元年度に延期した「いばらき県央地域観光協議会 presents ファンライド de あす旅」について、日程協議を再調整して実施
- ②広域連携（結城市・筑西市・桜川市・土浦市）により取り組むサイクリング案内サイト「ちゃりさんぽ」を参考として、モデルコース、立寄りスポット等を紹介する特設ページの製作準備と周遊マップの作成
- ③県央地域内のサイクルツーリズムの更なる推進とあわせ、各市町村が進めるサイクル事業との相乗効果が図れるよう、自転車サポート（レンタサイクル、サイクルラック）の拡充策を検討

議案第2号 令和2年度収支予算について

【収 入】

(単位：円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比較増減	説 明
負 担 金	21,080,000	24,380,000	△3,300,000	市町村負担金 水戸市 7,010,000 笠間市 2,265,000 ひたちなか市 2,333,000 那珂市 1,174,000 小美玉市 1,761,000 茨城町 1,340,000 大洗町 2,525,000 城里町 1,270,000 東海村 1,222,000 観光協会負担金 @20,000×9 団体=180,000
繰 越 金	18,148,826	10,228,814	7,920,012	前年度繰越金
雑 入	174	186	△12	預金利息
合 計	39,229,000	34,609,000	4,620,000	

【支 出】

(単位：円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比較増減	説 明
報 償 費	600,000	600,000	0	観光大使派遣料等
消 耗 品 費	1,800,000	1,200,000	600,000	観光キャンペーンノベルティ代, 物産イベント消耗品費等
食 糧 費	300,000	100,000	200,000	物産イベント時弁当代, 会議時飲料代等
印 刷 製 本 費	1,200,000	700,000	500,000	物産イベントチラシ印刷代 等
通 信 運 搬 費	300,000	100,000	200,000	通知文書送付等
広 告 料	5,000,000	8,000,000	△3,000,000	Web, SNS 広告等
手 数 料	100,000	100,000	0	振込手数料, サーバー管理手数料等
委 託 料	25,000,000	23,300,000	1,700,000	物産イベント, ファンライドの実施 周遊ツアーの催行, ガイドブ ック作成
使用料及び賃借料	900,000	500,000	400,000	バス借上料等
予 備 費	4,029,000	9,000	4,020,000	
合 計	39,229,000	34,609,000	4,620,000	

負担金の算出根拠

参 考

○各市町村

茨城県央地域定住自立圏共生ビジョンにおける負担金算出根拠に基づき、均等割に人口割又は交流人口割の額を加えたものとする。

※人口については令和元年 10 月 1 日現在、交流人口割については茨城県観光客動態調査報告の最新版に基づく。

○各観光協会

定額 20,000 円

【負担金一覧】

(単位：千円)

市町村／ 観光協会名	人口(人) *R1.10.1現在	観光交流人口 H30年	負担金			
			マーケティング 調査	冠力発信事業	周遊型観光の 推進事業	合計(千円)
水戸市	269,661	3,676,200		2,852	4,158	7,010
笠間市	74,334	3,704,400		921	1,344	2,265
ひたちなか市	155,080	3,921,600		949	1,384	2,333
那珂市	53,361	243,400		477	697	1,174
小美玉市	49,200	2,109,100		716	1,045	1,761
茨城町	31,906	769,200		545	795	1,340
大洗町	15,992	4,530,800		1,027	1,498	2,525
城里町	18,429	549,400		516	754	1,270
東海村	37,702	394,200		497	725	1,222
小計	705,665	19,898,300	0	8,500	12,400	20,900

水戸観光コンベンション協会			20
笠間観光協会			20
ひたちなか市観光協会			20
那珂市観光協会			20
小美玉観光協会			20
茨城町観光協会			20
大洗観光協会			20
城里町観光協会			20
東海村観光協会			20
小計			180

合計	21,080
----	--------

議案第 3 号 役員の改選について

役員の選任（案）

役職名	団 体 名
会 長	水戸市
副会長	大洗町
監 事	ひたちなか市（新任）
監 事	小美玉市（新任）

いばらき県央地域観光協議会規約

(名称)

第1条 本会は、いばらき県央地域観光協議会（以下「協議会」という。）と称する。

(目的)

第2条 協議会は、県央地域首長懇話会の構成団体が連携して広域観光の推進を図ることを目的とする。

(構成)

第3条 協議会は、次に掲げる市町村（以下「関係市町村」という。）及び市町村の観光協会（以下「関係観光協会」という。）をもって構成する。

水戸市 笠間市 ひたちなか市 那珂市 小美玉市 茨城町 大洗町
城里町 東海村

一般社団法人水戸観光コンベンション協会 一般社団法人笠間観光協会

ひたちなか市観光協会 那珂市観光協会 一般社団法人小美玉観光協会

茨城町観光協会 一般社団法人大洗観光協会 城里町観光協会 東海村観光協会

(所掌事項)

第4条 協議会は、第2条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事項を所掌する。

- (1) 関係市町村の観光資源の活用に関すること。
- (2) 関係市町村の観光関連事業の連絡調整に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、必要と認める事項に関すること。

(組織)

第5条 協議会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 関係市町村の観光担当課長
- (2) 関係観光協会の事務局長又はこれに相当する職にある者

(役員)

第6条 協議会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副会長 1名
- (3) 監 事 2名

2 役員は、委員の互選により選出する。

3 役員の任期は、2年とする。ただし、補欠により選任された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員の職務)

第7条 会長は、協議会の会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

3 監事は、協議会の会計及び業務を監査する。

(会議)

第8条 協議会の会議は、会長が招集し、会長は、会議の議長となる。

2 協議会は、委員の2分の1以上の出席がなければ開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(経費)

第9条 協議会の経費は、次の収入をもって充てる。

(1) 負担金

(2) その他の収入

(会計年度)

第10条 協議会の会計年度は、4月1日から翌年3月31日までとする。

(事務局)

第11条 協議会の事務局は、会長の属する市町村の観光担当課に置く。

(補則)

第12条 この規約に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

付 則

この規約は、平成22年5月27日から施行する。

付 則

この規約は、平成29年5月19日から施行する。

いばらき県央地域観光協議会名簿（2020年5月現在）

【委員】

（敬称略）

市町村名／ 観光協会名	役 職 名	氏 名	電話番号	備 考
水戸市	観光課長	小林 一仁	029-224-1111	
笠間市	観光課長	滝田 憲二	0296-77-1101	
ひたちなか市	観光振興課長	西野 浩文	029-273-0111	
那珂市	商工観光課長	石井 宇史	029-298-1111	観光協会事務局長兼務
小美玉市	商工観光課長	藤枝 修二	0299-48-1111	
茨城町	商工観光課長	岡野 清	029-292-1111	観光協会事務局長兼務
大洗町	商工観光課長	長谷川 満	029-267-5111	
城里町	まちづくり戦略課長	小林 克成	029-288-3111	観光協会事務局長兼務
東海村	産業政策課長	秋山 尊道	029-283-5001	観光協会事務局長兼務
（一社）水戸観光コンベンション協会	事務局長	田口 茂	029-224-0441	
（一社）笠間観光協会	事務局長	笹ノ間 耕一	0296-72-9222	
ひたちなか市観光協会	専務理事兼事務局長	岡田 一男	029-273-0116	
那珂市観光協会	事務局長	石井 宇史	029-298-1111	
（一社）小美玉観光協会	事務局長	島田 久	0299-37-1255	
茨城町観光協会	事務局長	岡野 清	029-292-1111	
（一社）大洗観光協会	専務理事兼事務局長	鬼澤 保之	029-266-0788	
城里町観光協会	事務局長	小林 克成	029-288-3111	
東海村観光協会	事務局長	小林 純一	029-287-0855	

【事務局（水戸市）】

役 職 名	氏 名
観光課長	小林 一仁
観光課副参事兼課長補佐	川俣 和彦
観光課企画物産係長	篠原 純一郎
観光課企画物産係主事	中根 理沙
観光課企画物産係主事	舘 かほる